

## 第58回マイコトキシン研究会学術講演会プログラム

日時：平成17年9月20日(火) 9:30-17:30

会場：札幌コンベンションセンター204会議室 <http://www.sora-scc.jp/>

(札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 地下鉄東西線東札幌駅下車徒歩約10分)

展示会場(休憩室)：207会議室(11:55~13:10)はランチョンセミナーを開催)

世話人：北海道立中央農業試験場 クリーン農業部 病虫科長 角野 晶大

参加費：参加費：会員 1,000円、非会員 1,500円、賛助会員 無料(2名限定)、学生 無料

9:30 開会

9:35 一般講演(発表、質疑討論合わせて1題15分)

座長：田中健治 (独)食総研)

(1) 国内産市販麴のマイコトキシン汚染に関する研究

○林 芳樹<sup>1)</sup>、アンソニー・セレス<sup>1)</sup>、田中宏輝<sup>2)</sup>、小西良子<sup>2)</sup>、岡崎勝一郎<sup>1)</sup>、芳澤宅實<sup>1)</sup>

1)香川大、2)国立医薬品食品衛生研

(2) 北海道におけるマイコトキシンの牛飼料汚染と牛乳のアフラトキシン

○小岩政照

酪農学園大

座長：後藤哲久(信州大)

(3) Natural co-occurrence of aflatoxins and ochratoxin A in processed spices marketed in Malaysia

○Norhayati Ali<sup>1)</sup>、Noor Hasani Hashim<sup>2)</sup>、Takumi Yoshizawa<sup>1)</sup>

1)Kagawa University、2) University of Science Malaysia

(4) Aspergillus section Flavi and Aflatoxins in Dusts Generated by Agricultural Processing Facilities in the Philippines

○Anthony C. Sales、Takumi Yoshizawa

Kagawa University

10:35 休憩(207会議室が展示会場と休憩室になっています)

10:45 一般講演

座長：中島正博(名古屋市衛研)

(5) 改良固相抽出法によるコーヒーおよび穀物等中のオクラトキシンA

○川村 理、首藤明日香、山本純子

香川大

(6) 穀類中のオクラトキシンA及びシトリニンの定量法の検討とその改良について

○青山幸二<sup>1)</sup>、森藤 香<sup>1)</sup>、石黒瑛一<sup>1)</sup>、大須賀裕美<sup>2)</sup>、藤田和弘<sup>2)</sup>、金丸直樹<sup>3)</sup>、南澤正敏<sup>3)</sup>

1)(独)肥飼料検査所、2)(財)日本食品分析センター、3)(財)日本穀物検定協会

座長：望月直樹(アサヒビール株)

(7) プラズマ暴露によるデオキシニバレノール低減技術の検討

○乙部和紀<sup>1)</sup>、乙部(桐渕)千雅子<sup>1)</sup>、田中健治<sup>2)</sup>

1)(独)農研機構、2)(独)食総研

(8) 米中のフモニシン類のLC-MS/MSによる分析

○久城真代、鄭 雅志、田中 健治

(独)食総研

11 : 50 (昼 食) 幹事会 (201 会議室)

11 : 55~13 : 10 ランチョンセミナー (207 会議室)

13 : 15 一般講演

座長 : 作田庄平 (東大)

(9) 環境微生物の生産するアフラトキシン生合成阻害物質の探索

○一宮維幸、伊藤康博、矢部希見子

(独)食総研

座長 : 長嶋 等 ( (独) 食総研)

(10) アフラトキシン生産阻害物質ブラストサイジン A の蛍光プローブの作製とそれを用いた局在解析

○中村慶太<sup>1)</sup>、作田庄平<sup>1)</sup>、丸山潤一<sup>2)</sup>、北本勝ひこ<sup>2)</sup>、長澤寛道<sup>1)</sup>

1) 東大大学院応用生命化学、2) 東大大学院応用生命工学

(11) Cytotoxic and biological effects of mycotoxins produced from *Aspergillus fumigatus* in mammalian cells

○Bong Joo PARK<sup>1)</sup>、Yoshiko SUGITA-KONISHI<sup>1)</sup>、Ik-Hwi KIM<sup>1)</sup>、Katsuhiko KAMEI<sup>2)</sup>、Maki AIHARA<sup>1)</sup>、Kosuke TAKATORI<sup>1)</sup>

1) National Institute of Health Sciences、2) Chiba University

14 : 05 受賞記念講演 座長 : 熊谷進 (東大)

「DON研究30年の軌跡」

香川大学 芳澤 宅實

15 : 05 休憩

15 : 15 シンポジウム「生産現場における小麦デオキシニバレノール対策の現状と問題点」

座長 : 角野晶大 (北海道立中央農試)、中島 隆 (九州沖縄農業研究センター)

15 : 15 1. 赤かび病耐病性およびデオキシニバレノール産生抑制型小麦品種の育成状況

北海道立北見農業試験場 柳沢 朗

15 : 45 2. 赤かび病およびデオキシニバレノール汚染に対する小麦の防除対策

北海道立中央農業試験場 相馬 潤

16 : 15 3. デオキシニバレノール汚染に対応した小麦の乾燥・調製技術

北海道立十勝農業試験場 竹中 秀行

16 : 45 4. デオキシニバレノール暫定基準値設定に対する生産現場での対応状況

ホクレン農業総合研究所 庵 英俊

17 : 15 5. 総合討論

17 : 30 閉 会

17 : 45~19 : 45 懇親会

場所 : 札幌コンベンションセンター 108-109 会議室

会費 : 3000 円 (当日徴収します)